

第11回高校生バイオサミット in 鶴岡

菅原さん(3年)に経産大臣賞

全国の高校生が生命科学分野に関する研究の取り組みを発表する「第11回高校生バイオサミット in 鶴岡」の表彰式が25日、鶴岡市の慶應義塾大先端生命科学研究所を拠点に行われ、全国トップに当たる大臣賞のうち、酒田東高3年の菅原さくらさんが経済産業大臣賞に選ばれた。鶴岡市長賞には鶴岡北高2年の坂本夏菜さんが決まった。

菅原さんは成果発表部門で決勝に進み他の19組の進出者とともに、23日にオンラインで研究成果を発表。「プラスチックを分解する海洋微生物の探索」をテーマに、海洋プラスチックごみ問題の解決を着眼点に、プラスチックを効率よく分解する微生物の探索に向け実験に取り組んだ内容を発表した。

庄内地域の高校生の大臣賞受賞は第4回で環境大臣賞に選ばれた伊藤光平さん(当時鶴岡南高)以来2人目。菅原さんの研究内容は、審査員講評で「プラスチックを利用して増殖する海洋微生物を見つけることに成功した。海洋微生物の探索のために綿密な先行研究調査や独自の情報学的解析を行い、実験ではプラスチックの影響の解析に適した培養条件を用いるなどの工夫が凝らされていた。研究で用いた微生物や解析手法は、海洋プラスチック問題の解決に向けた新たな微生物技術のシースとなることが期待できる」と高く評価された。

一方、鶴岡市長賞の坂本さんは、これから実施する研究や開始して間もない研究の計画を対象にした計画発表部門で、決勝(15組)に進み、「外来沈水植物と在来沈水植物の環境特性の差について(オオカナダモとクロモの様々な比較)」のテーマで発表した。菅原さん、坂本さんともに慶應先端研の特別研究生。高校生バイオサミットは、慶應先端研と県、鶴岡市が実行委員会をつくり、2011年から毎年夏に開催。今回は全国23都道府県の高校・高専の生徒・学生258人の研究116点を対象にオンラインで実施。研究点数は過去最多となった。慶應先端研の富田勝所長を審査委員長に23人が審査した。賞は経済産業、文部科学、厚生労働、農林水産、環境の各大臣賞などがある。